

知事コメント

令和4年2月3日(木)

今週から2月20日までのまん延防止等重点措置の延長期間が始まりました。

県内では県民の皆様の感染対策の取組みにより、全国でオミクロン株の置き換わりによる感染急拡大が起こっている中であっても、陽性者の減少傾向を維持しております。

県では、先般感染症専門家会議等の意見を参考に今後も陽性者の減少や医療提供体制のひっ迫状況の改善が進んだ場合には、本島、本島周辺離島、宮古圏域、八重山圏域のそれぞれの圏域において、地域の意見を踏まえ措置区域の解除を行うことと致しました。

その際定めた基準を、宮古圏域において本日(2/3)時点で下回りましたので、地域の意見を参考に、本日宮古圏域のまん延防止等重点措置の区域指定を解除することを決定しました。それに伴い飲食店における時短要請などの一部の要請は7日(月)から解除となります。

また、宮古圏域の県立学校においては通常登校、部活動については感染防止対策を徹底し、平日90分以内、土日休日2時間以内の活動とし、活動開始時・各種大会前の健康チェックを行うこととしております。

宮古圏域においては一時は急速な感染拡大がみられ、先がみえない状況となり、不安な思いをされたことと思いますが、感染対策の取組みにより、いち早く指標の改善がみられ、またワクチンの3回目接種においても積極的な取組みがなされており、その成果が表れているものと考えております。宮古島市民、多良間村民の皆様、更なる改善に向けて引き続き感染対策の取組みをよろしくお願い致します。

しかし、それぞれの圏域での改善がみられる一方で、本島を中心に新規陽性者数は未だ高い水準にあり、入院患者数も高い水準に留まっていることに加えて、休業となる医療従事者が多いことから、医療提供体制への大きな負荷は続いております。

このような中、高齢者施設等での感染者が急増し、入院が必要な方については、できる限り入院の調整をしておりますが、対応が困難な場合は、やむを得ず、施設内療養をお願いする状況となっております。

県では、施設内での入院待機となる場合、必要な医療を施設内で提供できるよう、医師、看護師、感染管理専門家等の派遣や衛生資材の提供等の支援を行っておりますが、県医師会に対しても訪問診療やオンライン診療等の協力を依頼したところです。

医療提供体制の回復には、引き続きの陽性者数の減少と今しばらくの時間が必要です。施設の入所者とそのご家族、施設の職員など関係者の皆様におかれましては、この厳しい状況をご理解いただき、施設内での療養についてご協力をくださいますようお願い申し上げます。

そして、厚生労働省より、2月2日付けで、同居家族が濃厚接触者となった場合の自宅待機期間を従来より短縮できる通知が発出されました。

具体的には、従来濃厚接触者の待機期間の開始日は、陽性者の療養期間の最終日を起点としていたため、待機期間が17日程度に及んでいましたが、本通知により陽性者の発症日か、家庭内で共用部分の消毒などの感染対策を開始した日のいずれか遅い方を起点に、自身が7日間発症しなければ8日目に解除できるとしております。県としても、この通知に従って対応してまいります。

また、在日米軍は、新型コロナウイルス感染症対策に関し、1月31日をもって、外出制限等の措置を解除しました。しかしながら、本県における感染状況を鑑みれば、まだまだ解除できる状態にあるとは言えません。

在日米軍は、周辺自治体が講じている措置を考慮に入れた形で追加的な措置をとる権限を各施設・区域の司令官に付与しているとしております。このことから県は、去る31日に、感染拡大が収束するまで外出制限を延長すること等について、四軍調整官及び外務省沖縄大使あて要請しました。

県としては、米軍において県民及び基地従業員の健康と安全を守るため、引き続き対策に万全を期し、一刻も早い感染症の収束に、油断することなく取り組んでいただくよう求めてまいります。

県としましては、まん延防止等重点措置期間中から3月末までを「沖縄県ワクチン追加接種推進期間」とし、65歳以上の高齢者等への追加接種の前倒しに積極的に取組むとともに、進学や就職など新生活を、より安心して迎えることができるよう、2回目接種終了から数えて6か月以上経過した64歳以下の方に対しても、早期のワクチン接種を推進してまいります。

2月5日から開設します県広域ワクチン接種センターにおいても、接種の対象者を拡大し、追加接種を開始いたします。

ワクチン接種の状況につきましては、現在、高齢者施設等の従事者等を中心に追加接種が進められており、1月末現在、6万2,653名、全年代の4.2%へ追加接種が行われ、1月までの追加接種対象者に対する接種率は全国4位となっております。県は意識調査を実施し、接種に前向きとなるような広報に取組み、ワクチン接種の推進に繋げてまいります。

市町村におかれましても、追加接種の更なる推進を図り、2回目接種後6か月以上経過する方へ早期に接種券を発行するとともに接種券を紛失された方への再発行などについてもよろしくお願ひします。

県民の皆様におかれましては、接種券が届きましたら、早期のワクチン接種を是非ご検討ください。3回目接種において、1・2回目接種とは異なるワクチンの使用(いわゆる交互接種)は、国において有効性と安全性が確認されておりますので、早く接種できるワクチンから接種いただくことをお勧めします。

県内では2月1日からプロ野球キャンプも始まっておりますが、キャンプ地においても事前予約制の導入による入場者数の制限や、選手とファンの皆様との動線分離による感染リスクの低減、球団独自のアプリやRICA登録による追跡対策の徹底などの感染防止対策が講じられることになっております。

キャンプ地へ来場予定の皆様には、日頃の体調管理を行って頂き、来場の際のマスク着用やこまめな手洗い・手指消毒などの基本的な感染防止対策とあわせ、各球団からの感染防止対策の呼びかけへのご協力を願ひします。

また、2月は旧正月やトウシビーなど沖縄の年中行事が目白押しですが、催事及び行事は同居家族等のいつも一緒にいる方と願ひ致します。

本日は節分、健康を祈願し、新しい春を迎えるための日です。沖縄県では、県民の皆様の取組みにより全国でもいち早くピークを超えたものと考えております。何卒引き続き感染対策に取り組む頂き、全県において措置区域外へ移行できるよう、平素より体調管理に気を付けてお過ごしくださいますようお願い申し上げます。